

『時事直言』 No.1600 2023年4月28日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] info@chokugen.com

[twitter 日本語] [t_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019)

[twitter 英語] [T_Masuda_eng/](https://twitter.com/T_Masuda_eng)

[instagram] [t_masuda2019/](https://www.instagram.com/t_masuda2019/)

[Youtube] 増田俊男チャンネル/



時事評論家 増田俊男

植田新日銀総裁も黒田前総裁も相変わらずの「空想論者」

本日日銀金融政策決定会合が終わり、植田新総裁の記者会見が開かれた。

私は前から「サプライズなし」と言ってきた通り、黒田異次元金融緩和続行、問題のイーロドカーブコントロールもそのまま継承。

ただ長期にわたる金融緩和の副作用を1年から1年半掛けて検証することになった。

インフレ見通しは、2023年は従来予想1.6%から1.8%、2024年は1.8%から2.0%、2025年は1.6%と発表された。

日本のインフレターゲット2%が金融政策のみで達成できるというスタンスは黒田前総裁と同じである。

デフレ体質の日本経済にあつて2%目標を達成するには、通貨の価値を下げることに依つて物価を上げる金融政策ではなく、モノとサービスの需給関係を改善する以外にないのである。

欧米経済はインフレ体質だから金融政策で物価をコントロール出来るがデフレ体質の日本経済では金融政策はギミックでしかない。

この鉄則を学者の植田総裁が知らぬはずがないのだが、総裁になったとたんに学者ではなく政治家になったようだ。

黒田総裁同様構造改革(リストラで供給力を落とし需要とマッチさせる)をしてこなかった歴代政権に責任を問うような発言が出来なかったのだろう。

日本はまたもや果てしなき金融緩和続行で、結果アメリカに喜んでもらうしかなくなったのである。

大好評発売中！増田俊男の小冊子 Vol.132

『眠れる獅子、日本が浮上する！』

現在増田俊男の小冊子 Vol. 132 は**大好評発売中**です。内容は、*「日米安保は日本の安全の要」と言う大嘘を暴くアメリカ*日本に経済主権はなく、日本はまるでアメリカ用の財布！*アメリカが日本に与えた憲法第9条無視の三法改訂を歓迎するアメリカ*戦後一貫として不変のアメリカ対中政治・経済指針*日中は歴史的新時代に向かう*アインシュタインの言葉が蘇る時*日本人だけの特権資産ポートフォリオなどです。

価格は、1冊4,800円(税・送料別)。詳しいご案内、お申込みについてはマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313、HP: <http://chokugen.com/>) まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスタ U.S.リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313) までお知らせ下さい。